高等学校の地域キャンパス化について

高校教育課

平成21年4月に、中条高等学校を以下のように地域キャンパス(分校)化する。

1 実施時期

平成21年4月1日

2 センター校(本校)

長野西高等学校

- 3 今後のスケジュール
 - ・ 平成20年9月議会定例会において高等学校設置条例第3条による議案提出
 - ・ 平成 20 年 12 月議会定例会において高等学校設置条例別表を改正

【参考】地域キャンパスについて

(1)地域キャンパス化の理由

1 学年 2 学級規模の定員に満たない学校の再編基準は、2 年連続して全校生徒数が160人以下の場合、地域キャンパス化、他校との統合、募集停止のいずれかとするものである。今年度が基準適用の初年度となるが、中条高校の場合、今年 5 月 1 日現在の生徒数は、1 年生 21 人、2 年生 13 人、3 年生 30 人、全校で 64 人である。2 年目となる来年度においても、全校生徒数が160人を超えることは困難であり、基準の適用が確実なことから、地域キャンパスという形で地域に学びの拠点を置き、その地域で高校教育を必要とする生徒達に高校教育の機会を保障していく。

(2)本校選定の考え方

センター校(本校)については、同じ通学区内の生活圏の近い所にあり、学科等の 教育課程に共通性があることなどを基準として選定することが学校運営上望ましい ことから、旧第3通学区内の最寄りの普通高校である長野西高等学校とした。

中条高校の地域キャンパス化について

100周年とともに新たな地域の学びの拠点として生まれ変わる







地域キャンパス(分校)とは

- ・生徒募集は地域キャンパス独自に行なう ・副校長の配置(校長はセンター校校長が兼務)
- ・教育の質の確保